

令和3年7月21日

能代市教育委員会
7月定例会会議録

能代市教育委員会

令和3年7月21日、能代市教育委員会定例会を能代市役所二ツ井町庁舎2階庁議室において午後1時55分に開会した。

○出席の委員は、次のとおりである。

教育長	高橋誠也
委員	木村高寛
委員	西村省一
委員	中嶋佐千子
委員	寺田恵美子

○説明のため出席した者は、次のとおりである。

教育部長	石川佳英
教育部次長	有山勇
能代教育事務所長	本間将
学校教育課長	佐藤充
学校教育課参事	安部芳幸
生涯学習・スポーツ振興課長	田口俊成
生涯学習・スポーツ振興課 文化財保護室長	山崎和夫
教育総務課参事	柳谷敬

○オブザーバーとして参加した者は、次のとおりである。

学校教育課指導主事	柴田裕彦
学校教育課指導主事	大山祐子

○本日の会議に付した事件

日程第1	会期の決定
日程第2	会議録署名員の決定
日程第3	前回定例会会議録の承認
日程第4	教育長報告
日程第5	議事
	承認第8号 臨時代理の承認について
日程第6	その他

【日程第1 会期の決定】

○教育長

本定例会の会期は、本日1日限りとし、会議時間を午後4時00分までとする。

【日程第2 会議録署名員の決定】

○教育長

会議録署名員に、5番中嶋委員と6番寺田委員を指名する。

【日程第3 前回定例会会議録の承認】

○教育長

委員の皆さんから異議がないので、前回6月定例会会議録を承認する。

【日程第4 教育長報告】

○教育長

前回定例会以降の行事等について報告。

7月 7日(水) 令和3年度能代市講師等研修会(二ツ井町庁舎 大会議室)

7月21日(水) 教育委員会定例会(二ツ井町庁舎 庁議室)

7月30日(金) 大人のわんぱく道場(梅林寺)

8月 3日(火) 能代市山本郡学校給食研究集会(能代山本広域交流センター)

8月15日(日) 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル

(サイエンスパーク・能代市子ども館)

8月20日(金) 戦没者追悼式(文化会館)

〃 第1回カリキュラム・マネジメント検討会議

(二ツ井町庁舎 大会議室)

8月26日(木) 教育委員会定例会(二ツ井町庁舎 庁議室)

○木村委員

カリキュラム・マネジメント検討会議では、どのようなことを検討するのか。

○学校教育課長

カリキュラム・マネジメント検討会議は、学校の教育課程を改善、実践、評価、検討を行う会議である。

学校全体で、また教科の枠を超えて横断的に全体で行うものである。

○学校教育課参事

毎年学期末になると次の年の教育活動の計画を立てる教育課程編成を行っているが、それをカリキュラム・マネジメントという言葉で表している。

新しい課題が、学校現場でも地域でも出ているので、そういった課題を一つ一つ学校の教育課程の中で解決していけるように、計画を立てているところである。

○教育長

国では、全国で8つの教育委員会を選定し、カリキュラム・マネジメントの充実を図るための実証的な調査研究を行い、その成果を普及することとしている。本市ではこの事業

に応募し、選定されたことから、実践校を第四小学校、能代第二中学校、二ツ井中学校の3校とし、第四小学校は学校教育目標について、能代第二中学校は先生方の研修体制について、二ツ井中は地域との連携について、今日的な課題について研究を行うこととしている。

○木村委員

タブレット学習に関する教材についてもカリキュラム・マネジメント検討会議の中で検討するのか。

○学校教育課長

教材そのものではないが、それぞれの課題に対応していくためにタブレットを含めたICTの活用についての検討はあり得る。

○中嶋委員

カリキュラム・マネジメント検討会議はどのような方が出席するのか。

○学校教育課長

先ほどの3つの学校の関係者と学識経験者として秋田大学の教授、県の指導主事等が集まることとなっている。

【日程第5 議事】

○教育長

「承認第8号臨時代理の承認について」説明を願う。

○教育部次長

令和3年度能代市教育委員会関係職員の人事異動の発令について《資料により説明》

○教育長

異議がないので、「承認第8号」を承認する。

【日程第6 その他】

「その他」について

各課から 報告事項や連絡事項等があれば、願います。

○教育部次長

学校の教職員や高齢者施設の職員への優先接種要望に対する回答について《資料なし》
能代市教育委員会6月定例会において、委員の皆様から御要望があった、「学校の教職員や高齢者施設の職員への優先接種を前向きに検討してほしい」ということについて、新型コロナウイルスのワクチン接種を担当している市民福祉部長宛てに要望書を提出したところ、7月2日に回答があった。

教育委員会からの要望書の趣旨としては、「多くの人と接する機会の多い教職員等が早期のワクチン接種を受けられるように。」との内容であったが、それに対する回答として、「様々な団体や企業からも、同様の要望を受けていること、昨今の報道でもあるように、今後のワクチン入荷が不安定になる可能性があること、かつ医師や看護師の協力を得ながら進めている事業であり、その接種能力にも限界があること、といった状況の中で、全ての要望にお応えすることは難しい状況であることから、本市では市独自の優先対象を設けず、ワクチンの在庫状況を見ながら、年齢区分ごとに順次接種を行うこととしたものであ

る。」とのことであった。

また、「現在、60歳以上の方へ接種券を郵送済みであるが、7月後半には50歳以上の方々へ接種券を送付する予定であり、対象となる方で接種を希望される方については、接種券到達後速やかに予約をとり、接種を受けていただくようお願いいたします。」とのことであった。

なお、現状のワクチン接種の状況については、回答をいただいた時点から接種券の発送時期等が前倒しとなっており、要望への回答では、50歳代への接種券発送予定が、7月後半となっていたが、すでに7月16日に接種券が発送されている。

また、満12歳から49歳までの接種券の発送は、7月30日を予定しているとのことであり、これにより64歳以下のワクチン接種の終了時期が、10月中となる見込みとなっている。

このことから、教育委員会の要望でも懸案となっていた教職員及び児童生徒へのワクチン接種については、日程等が明確になってきたことにより、一定の見通しがついたものと考えている。

今後も、必要なワクチンの確保と接種体制の充実を図りながら、着実に接種が進められていくことを願っている。

○教育長

質問等をお願いする。

○中嶋委員

ワクチンの優先接種の件について、担当部署へ要望書を提出していただきありがとうございます。

能代市では7月30日に12歳から49歳のすべての方に接種券が発送されるとお伺いしたので、ワクチンが足りないと言われている中でこのようにスムーズに行われているのは職員の方々の皆さんの努力だと思う。本当にありがとうございます。

○教育長

続いて、委員から本日の議事や報告事項等以外で、意見等があれば、発言をお願いする。

○木村委員

不登校に対する対応、いつもきめ細かにチームを組んでやられている姿には敬意を表したいと思う。

不登校ということだけ考えていくと、何人かの子供たちと話をさせていただいて感じるのは、授業が面白い、分かると居場所ができていくのではないかということ。

それぞれの事案に対しての対応もさることながら、やはり一番の解決策は、分かる授業を先生方がやってくれること。それがそのまま居場所づくりになっていくのかなという思いが一番である。

子供たちと話していると「大人はどんな私たちが望んでいるのか。それを教えてくれたら、その通りやってやるよ。いい子になってやるよ。」という答えが返ってきた。一昔前に「良い子悪い子普通の子」というテレビ番組があった。大人が望むのであれば「その良い子を演じてやってもかまわないよ」というような。子供は子供の世界でいろいろと大人を見ているのだなというのを感じた。

その言葉から思うのは、本当にこの子供に寄り添ってくれる人間を欲しているというのが裏にあるような気がする。

それが不登校という言葉が消えていく社会になっていくのかなと思う。ただ、現状での

学校での先生方の対応というのは本当に大変かと思う。

ただ言いたいのは、根っこは楽しい分かる授業、これをやっていったら不登校は消えるという思いが強くなる。

○学校教育課長

子供たちが、分かって、面白くて、学校に行きたいとなるように、今後も学校や先生方に働きかけていきたい。

○教育長

以上で予定された事項は、すべて終了した。

次回の定例会は、8月26日午後2時00分から、能代市役所 二ツ井町庁舎2階庁議室において開催したい。

本日の定例会を閉会する。

午後2時18分閉会